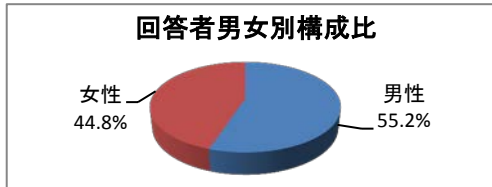


# 平成25年度第2回モニター定期アンケート調査集計結果

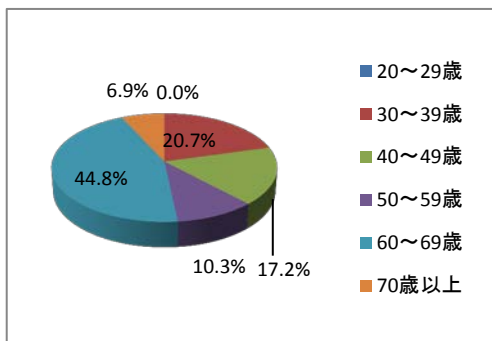
<平成25年12月実施>

## 【回答者数、回答率、構成比】



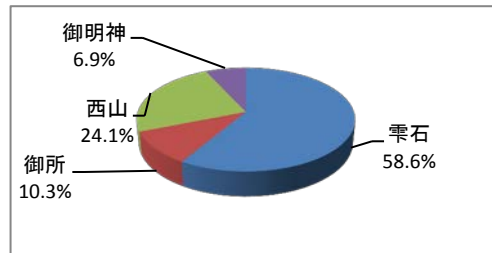
性別	モニター数	回答数	回答率	回答者構成比
男性	19人	16人	84.2%	55.2%
女性	13人	13人	100.0%	44.8%
計	32人	29人	90.6%	100.0%

## 【回答者年齢層別構成比】



年齢層	男性	女性	計	構成比
20～29歳	0人	0人	0人	0.0%
30～39歳	3人	3人	6人	20.7%
40～49歳	3人	2人	5人	17.2%
50～59歳	1人	2人	3人	10.3%
60～69歳	7人	6人	13人	44.8%
70歳以上	2人	0人	2人	6.9%
計	16人	13人	29人	100.0%

## 【回答者地区別構成比】



地区	男性	女性	計	構成比
霽石	9人	8人	17人	58.6%
御所	2人	1人	3人	10.3%
西山	3人	4人	7人	24.1%
御明神	2人	0人	2人	6.9%
計	16人	13人	29人	100.0%

## 【調査テーマ】

### 『図書館の開館日について』

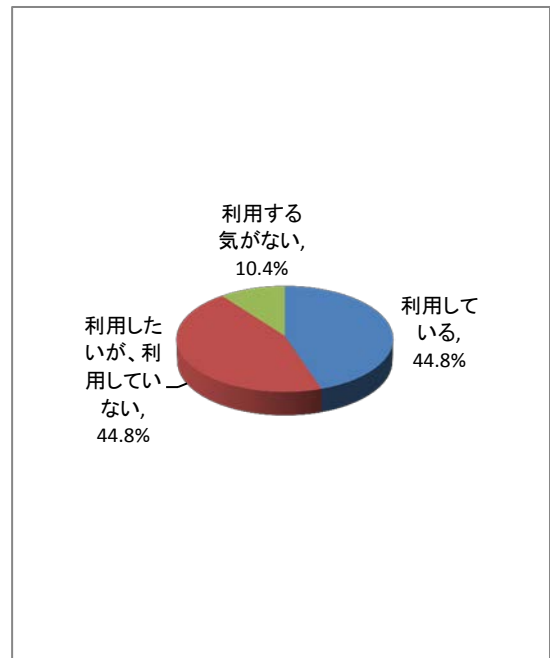
町立図書館の休館日は毎週月曜日、国民の祝日、年末年始、蔵書点検期間となっております。これまでは土日に祝日が当たった場合は休館日としていました。

そこで、今年度から住民サービス向上のため、土日に祝日が当たった場合は開館し、休館日は毎週月曜日と平日の祝日として試験的に運営しています。

祝日はすべて開館にした方が良くのご意見もありますが、経費等を考慮しながらより効率的に町民に利用して頂くための参考として皆様のご意見をお聴きするものです。

#### 問1. あなたは、図書館を日頃利用していますか。

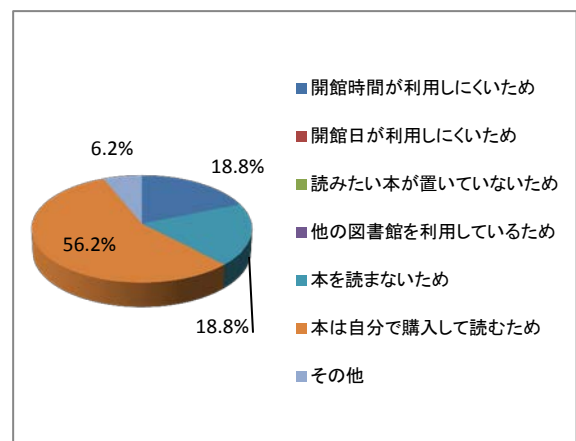
項目	回答数	構成比
利用している	13人	44.8%
(週3回程度)	(1人)	
(月1回程度)	(2人)	
(月2回程度)	(1人)	
(年1回程度)	(2人)	
(年2回程度)	(2人)	
(年3回程度)	(1人)	
(年5回程度)	(1人)	
(年6回程度)	(1人)	
(年10回程度)	(1人)	
(調べたい事があった時)	(1人)	
利用したいが、利用していない	13人	44.8%
利用する気がない	3人	10.4%
計	29人	100.0%



「利用している」と回答した割合は44.8%であった。一方で、「利用したいが、利用していない」「利用する気がない」合わせた回答は55.2%で半数以上となっている。

#### 問2. 2又は3と答えた方にお聞きします。利用しない理由は何ですか。

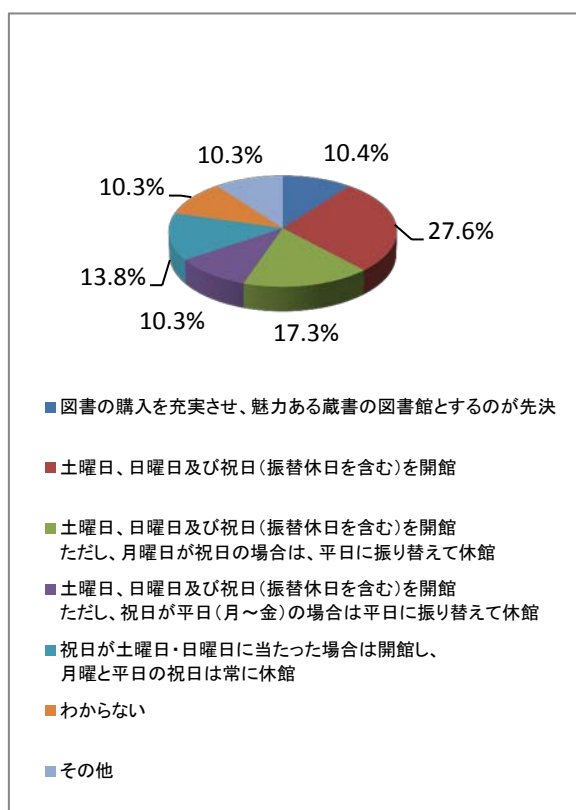
項目	回答数	構成比
開館時間が利用しにくい	3人	18.8%
開館日が利用しにくい	0人	0.0%
読みたい本が置いていない	0人	0.0%
他の図書館を利用している	0人	0.0%
本を読まない	3人	18.8%
本は自分で購入して読む	9人	56.2%
その他	1人	6.2%
(時間的余裕がない)	(1人)	
計	16人	100.0%



「本は自分で購入する」と回答した割合が56.2%で最も高く、次いで、「開館時間が利用しにくい」「本を読まない」の18.8%となっている。

問3. 限られた予算で利用を増やすには次のどれが大切だと思いますか。

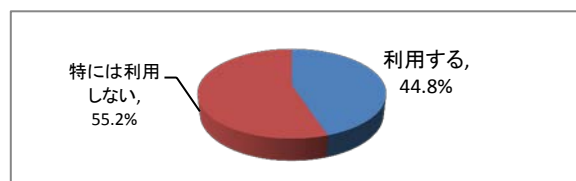
項目	回答数	構成比
図書の購入を充実させ、魅力ある蔵書の図書館とするのが先決だと思う。	3人	10.4%
土曜日、日曜日及び祝日（振替休日を含む）を開館にする。	8人	27.6%
土曜日、日曜日及び祝日（振替休日を含む）を開館にする。ただし、月曜日が祝日に当たった場合は、平日に振り替えて休館にする。	5人	17.3%
土曜日、日曜日及び祝日（振替休日を含む）を開館にする。ただし、祝日が平日（月～金）に当たった場合は平日に振り替えて休館にする。	3人	10.3%
祝日が土曜日・日曜日に当たった場合は開館し、月曜と平日の祝日は常に休館で良いと思う。	4人	13.8%
わからない	3人	10.3%
その他	3人	10.3%
計	29人	100.0%



「土曜日、日曜日及び祝日（振替休日を含む）を開館にする」と回答した割合が27.6%で最も高くなっている。

問4. 祝日が開館されたら、あなたはその日に図書館を利用しますか。

項目	回答数	構成比
利用する	13人	44.8%
特には利用しない	16人	55.2%
計	29人	100.0%



「特には利用しない」と回答した割合が55.2%で半数以上となっている。

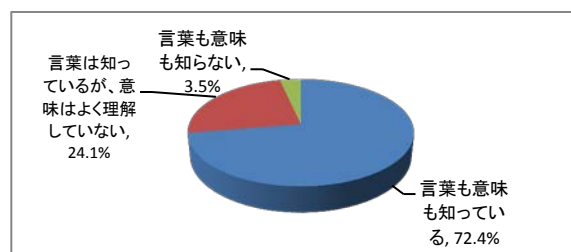
## 【調査テーマ】

### 『男女共同参画について』

町では平成17年に「男女共同参画プラン」を策定し、男女共同参画社会の実現に向け取り組みを進めてきたところです。  
平成26年度にプランの見直しを予定しており、男女共同参画に関する町民の関心や理解を把握するため、アンケート調査を実施するものです。

#### 問5. あなたは、『男女共同参画社会』という言葉と意味を知っていますか。

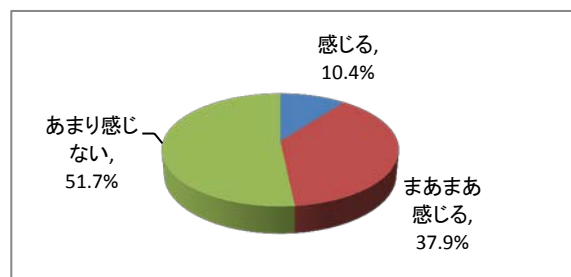
項目	回答数	構成比
言葉も意味も知っている	21人	72.4%
言葉は知っているが、意味はよく理解していない	7人	24.1%
言葉も意味も知らない	1人	3.5%
計	29人	100.0%



「言葉も意味も知っている」と回答した割合が72.4%となっており、「言葉は知っているが、意味はよく理解していない」と回答した24.1%を合わせると、回答者の96.5%が「言葉は知っている」と回答している。

#### 問6. 男女共同参画の視点から、日常生活や職場などで男女平等になっていると感じますか。

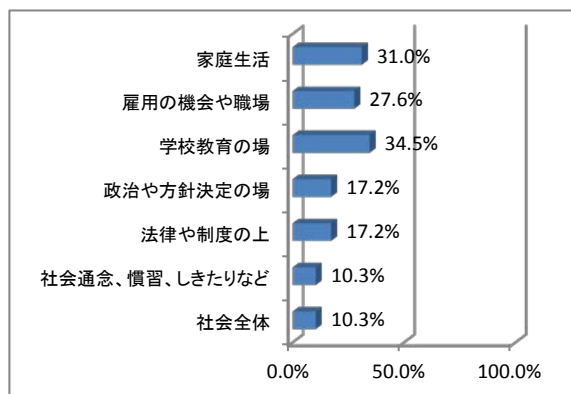
項目	回答数	構成比
感じる	3人	10.4%
まあまあ感じる	11人	37.9%
あまり感じない	15人	51.7%
全く感じない	0人	0.0%
計	29人	100.0%



「感じる」と回答した10.4%と「まあまあ感じる」と回答した37.9%を合わせると、半数近い48.2%が男女平等になっていると感じている。一方で、半数以上の51.7%は、平等になっているとあまり感じないという結果になっている。

問7. どのような場面で男女の地位の平等が進んでいると思いますか。(複数回答可)

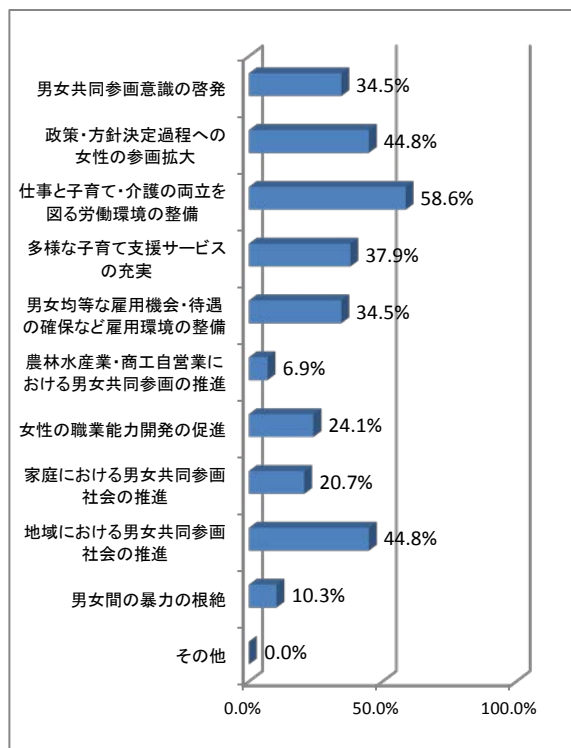
項目	回答数	構成比
家庭生活	9人	31.0%
雇用の機会や職場	8人	27.6%
学校教育の場	10人	34.5%
政治や方針決定の場	5人	17.2%
法律や制度の上	5人	17.2%
社会通念、慣習、しきたりなど	3人	10.3%
社会全体	3人	10.3%
計	43人	



「学校教育の場」と回答した割合が34.5%で最も高く、次いで「家庭生活」が31.0%、「雇用の機会や職場」が27.6%となっている。

問8. 男女共同参画社会実現のため、どのような取り組みを進めるべきだと思いますか。(複数回答可)

項目	回答数	構成比
男女共同参画意識の啓発	10人	34.5%
政策・方針決定過程への女性の参画拡大	13人	44.8%
仕事と子育て・介護の両立を図る労働環境の整備	17人	58.6%
多様な子育て支援サービスの充実	11人	37.9%
男女均等な雇用機会・待遇の確保など雇用環境の整備	10人	34.5%
農林水産業・商工自営業における男女共同参画の推進	2人	6.9%
女性の職業能力開発の促進	7人	24.1%
家庭における男女共同参画社会の推進	6人	20.7%
地域における男女共同参画社会の推進	13人	44.8%
男女間の暴力の根絶	3人	10.3%
その他	0人	0.0%
計	92人	



「仕事と子育て・介護の両立を図る労働環境の整備」と回答した割合が58.6%で最も高く、次いで「政策・方針決定過程への女性の参画拡大」「地域における男女共同参画社会の推進」の44.8%となっている。